

# 前回(第8回)の主なご意見

---

国土交通省 道路局  
企画課 評価室  
令和6年5月

## 前回(第8回)の主なご意見

### 【総論】

- ・第3ステージは2025年で終わるわけではなく、今後の発展のための議論をすべき。
- ・とりまとめにあたっては、現状追認ではなく、第3ステージを定義していくものとするべき。その定義に沿った取り組みを進めていく仕組みが必要。
- ・人口減少、少子高齢化は、大きな問題。この前提条件を踏まえて、関係人口、インバウンドのあり方を考えていく必要があるのではないか。
- ・第3ステージの推進は、現場任せではなく、道路以外の行政分野との連携や、制度的な下支えを行っていく必要があるのではないか。
- ・今後の進め方については、結論ありきではなく、本質的な議論ができるようにすべき。
- ・国土交通省が持つ情報を、ネットワークを通じて共有できる場づくりを行ってほしい。
- ・高速道路と「道の駅」を一体的に整備することが重要ではないか。
- ・「道の駅」を世界ブランドにしていくためには、「防災道の駅」など「道の駅」のアイデアをどうブランドするかが大切だと思う。

## 前回(第8回)の主なご意見

### 【防災】

#### ○ 防災道の駅関係

- ・防災道の駅に対する認知度が低いことが課題。
- ・防災道の駅どうしのネットワーク化をすすめるべき。
- ・防災道の駅の追加選定を進めていくべき。

#### ○ 道の駅の防災機能関係

- ・災害時は、どの「道の駅」も利用されるため、防災機能の整備強化が必要。特にトイレは、機能維持できるようになっていることが必要ではないか。

#### ○ 道の駅BCP関係

- ・「道の駅」におけるBCPの作成を100%実現するための課題とロードマップを示すべき。

#### ○ 高付加価値コンテナ関係

- ・コンテナを今後活用していくためには、その仕組みづくりを行うためのスケジュールや、そのためのマニュアルづくりが必要なのではないか。
- ・災害時、コンテナを使うための水、電気のバックアップや、民間が持っている資産との連携、土地利用の規制等への支援を、どう考えるかが必要ではないか。
- ・コンテナトイレ、今は数が限られている。各県で1つくらいあっても良いのではないか。
- ・災害時、必要な場所に入っていける体制、スキーム作りのほか、相談窓口を作してほしい。

## 前回(第8回)の主なご意見

### 【地方創生・観光】

- ・「道の駅」を、立寄先の接点として活用した観光振興を行い、インバウンドまで広げていくことが必要ではないか。
- ・インバウンド対応は、「道の駅」を中心に、どんなことができるのか？といった、コンテンツづくりが重要ではないか。
- ・「道の駅」が地域資源を磨きあげて、それを商品化している「道の駅」もある。その情報を展開していくことも大切ではないか。
- ・「道の駅」でやるべき関係人口の呼び込み策とはどういったものがあるのかを考えることが必要ではないか。
- ・イタリアのアルベルゴ・ディフーズ的な考え方など、ハードだけでなくソフトで「道の駅」を捉えていくことも重要。
- ・にぎわいづくりをして人が集まることを考えるならば、いざ発災した時の対応をあわせて検討する視点が必要。